

邑楽町誌編さん基本計画

令和 8 年 4 月 3 日策定

1 町誌編さんの趣旨

(1) 経緯

昭和 58 年に「邑楽町誌（以下「旧版」という。）が発刊されてから既に 40 年以上が経過した。

この間、邑楽町では、市町村合併やバブル崩壊、東日本大震災等の災害、コロナ禍などのパンデミック等々様々な出来事が発生した。また、自然環境も大きく変化し、開発による環境変化、外来動植物の侵入と定着など、旧版で記述された状況と現状との乖離も進んできている。これらの事態に町や町民はどう立ち向かってきたのか、この約半世紀の間に町の様相や置かれた状況はどのように変化してきたのか、町が現在直面している課題は何か、などについて改めて振り返り、今後のまちづくりのあり方について考えるべき時期に来ているといえよう。

折しも来る令和 10 年は、邑楽町が町制を施行して 60 年という節目の年となる。町では、それを記念するとともに、町の現在の姿を長く後世に伝えるため、「邑楽町誌増補版（以下「新版」というい。）の編集・出版を決定した。

(2) 目的

- ① 町制施行 60 周年（令和 10 年 4 月 1 日）を記念する事業として、町民意識の高揚や連帯感を育む。
- ② 旧版（昭和 58 年 2 月発行、内容は昭和 55 年現在）の発行以後約 40 年間に発生した事績をまとめ、後世に伝える資料とする。
- ③ 資料調査等の文化財調査、自然環境調査を実施し、今後の同種調査の基準とする。
- ④ 行政文書や各家庭で保存されてきた文書をはじめとする歴史的資料を収集し、その散逸を防ぎ、後世に伝える。

- ⑤ 歴史的資料は国民共有の財産であることを踏まえ、収集した資料等、町の保有する歴史的資料の整理、管理、公開方法の整備等を実施し、活用に向けての出発点とする。
- ⑥ 町民誰もが親しめるような、読み物として楽しいものとし、学習教材として学校教育や社会教育で活用を図る。
- ⑦ 旧版がすでに絶版となり市場にも出回っていないことから、旧版発行後の転入者をはじめ旧版に接したことのない町民が、町の歴史や誇るべき特質などに改めて接し、学ぶことができる条件を整備する。
- ⑧ 計画策定、調査、公開、活用のあらゆる段階で町民の参加を呼びかけ、官民協働の事業として、民主的なまちづくりの推進に寄与する。

2 基本方針

- ① 旧版刊行以後の町の歴史をまとめた「通史編」、全町的な自然環境調査を実施しその結果をまとめた「生物編」の2部構成からなる「邑楽町誌増補版」を刊行する。
- ② 記述に当たっては、学問的な正確性を保ちながらも、読者にとって分かりやすく平易な表現に努めるとともに、図版等を活用して一覧性の確保や親しみやすさを追求する。
- ③ 旧版を持っていない人のために旧版の内容をデジタル化し、デジタル媒体で希望者に頒布する。
- ④ 調査の中で明らかになった結果等を、随時報告書等にまとめるとともに、研究発表会等のイベントを開催し、町誌編さん事業の気運を高める。
- ⑤ 編さん作業と並行して、資料のデジタル化、公開方法の研究・検討などを行い、将来の活用につなげる。

- ⑤ 調査等によって得られた情報を町民の学習活動やまちづくりに活用できるよう、情報の二次利用に積極的に取り組み、継続的な事業展開を図る。
- ⑦ 編さん事業の全体を通じて、町民の参加や協力を最大限に追求する。

3 事業計画

(1) 期間 令和8年度から10年度までの3か年を目標とする。

(2) 構成と内容

- ①生物編 植物、魚類、水生生物（動物性プランクトン）、鳥類、ほ乳類、は虫類、両生類、昆虫の8分野について、全町域を対象とした自然環境調査を実施し、その結果を掲載する。
- ②通史編 旧版発行以後、主に昭和55年以降の町の事蹟を調査し、その結果を掲載する。
- 体裁 A4版、横書き（生物編）、縦書き（通史編）、カラー刷り、生物編300ページ・通史編200ページ程度
※ 同時にデジタル版（DVD-ROM）も制作・同梱する。
- 発行部数 300部

(3) 関連事業

- 講演会・シンポジウムなどの開催
- 「広報おうら」への掲載
- 町ホームページへの掲載
- 図書館・公民館等での展示

- 概要版やハンドブックの刊行
- 町民参加の調査活動・ワークショップ等の開催

4 組織

- 邑楽町誌編さん委員会（任期2年、委員20人以内）
教育委員会の諮問に応じ、町誌編さんの基本計画に関する事などについて審議し、教育委員会に答申する。
- 邑楽町誌編さん専門委員会（任期2年、委員10人以内、専門部会数2部会）
分野ごとに研究者等による専門部会を組織し、調査研究及び執筆に当たる。
- 邑楽町誌刊行委員会（任期定めなし）
役場各課の課長・局長等で組織し、町誌刊行の基本的事項の検討、行政内部の調整等に当たる。

事務局：邑楽町教育委員会生涯学習課文化財係

5 刊行計画（スケジュール）

年度	事業内容	刊行計画	備考
8	○編さん委員会、専門委員会等の設立 ○調査活動・資料収集 ○旧版デジタル版製作	研究紀要等	
9	○調査・資料収集・整理 ○原稿執筆	研究紀要等 旧版デジタル版頒布	
10	○補充調査・資料収集・整理 ○原稿執筆・編集作業 ○出版 ○出版記念事業実施	新版出版・頒布	町制60周年

11 以降	○事業整理(各種委員会等の解散) ○継続事業の実施 ・概要版やハンドブック等の編集、発行等) ・資料整理、デジタルアーカイブ事業への引継	概要版 生物編ハンドブック	
----------	---	------------------	--

※ 現時点での予定であり、事業の進捗状況によっては変更もありうる。